

MATERIALS TRANSACTIONS (Mater. Trans.) 投稿の手引き

2024 年 10 月 11 日更新

欧文誌への投稿は、次の要件を満たさなければならない。

- (1) 英文であり、未掲載および他のジャーナルに投稿中でないことかつオリジナリティがあること (Materials Transactions 審査及び査読規程に定める範囲において、重複を認める場合がある)。
- (2) 金属とその関連材料の学術および科学技術の発展に寄与するものであること。
- (3) 軍事研究であると判断される内容を含んでいないこと。
- (4) [投稿規程](#)に合致するものであること。
- (5) 別に定める[執筆要領](#)に準拠して作成された原稿であること。
- (6) 論文の著作権を本会に帰属することに同意すること。
- (7) 掲載が決定した場合は、この規程に定める投稿・掲載料を支払うこと。
- (8) 研究不正行為および研究不適切行為をしないことならびに研究不正行為をした場合は本会の定めるところにより処分を、研究不適切行為をした場合は本会の定めるところにより措置を受けることに同意すること。
- (9) 投稿原稿を作成する基となった生データ、実験・観察・研究ノート、実験試料・試薬等の研究成果の事後の検証を可能とするものを論文掲載後5年間保存することに同意すること。

1. Mater. Trans. に投稿可能な論文

(1) Regular Article (12 頁以内)

金属及びその関連材料の理論、実験並びに技術などに関する学術上の成果を報告し、考察した原著論文で、科学・技術的に質の高い、新規な興味ある内容(結果、理論、手法等)が十分含まれている論文。日本金属学会誌の学術論文に Web 掲載後 2 年以内であれば、著者および内容が基本的に同一の場合に限り、英訳した論文を投稿できる。その事を脚注に明記する。ただし査読の結果、返却もあり得る。なお、著者が迅速掲載を希望し、追加費用を負担する場合は、査読期間の短縮を含め、迅速掲載のための処理を行う。

(2) Rapid Publication (5 頁以内)

速報を要する短い論文。すなわち、新規性のある研究成果、技術開発に関する新知見、新アイデア、提案等。最短 2 週間で審査を完了する。迅速掲載のための費用を負担しなければならない。日本金属学会誌の速報論文に Web 掲載後 6 カ月以内であれば、著者および内容が基本的に同一の場合に限り、英訳した論文を投稿できる。その事を脚注に明記する。ただし査読の結果、返却もあり得る。

(3) Review (原則 20 頁以内)

各専門分野の研究開発の背景や最近の状況及び今後の展望等について、重要な文献を引用して、各専門分野の専門家のみならず他分野の専門家や学生等も対象に、その概要を公正

にかつわかりやすく解説する論文。日本金属学会誌およびまてりあに Web 掲載後 2 年以内であれば投稿ができる。その事を脚注に明記する。また、日本金属学会誌およびまてりあ掲載論文と異なる部分がある場合は、その事を脚注に明記する。なお、論文題目中に「Review」等を含めることが望ましい。

刷上りが 20 頁を超えると見込まれる場合は、査読の際、内容と分量の妥当性についても審査を行う。

(4) Overview(原則 20 頁以内)

単なる一般的な review ではなく、執筆者独自の考えに立って review し、取り上げた問題点の中において自説の位置付けを明確にした論文。ただし、事前に「タイトル」「氏名」「要旨」を編集委員会に提出し、了承を得た後、投稿する方式とする。日本金属学会誌およびまてりあに Web 掲載後 2 年以内であれば投稿ができる。その事を脚注に明記する。また、日本金属学会誌およびまてりあ掲載論文と異なる部分がある場合は、その事を脚注に明記する。なお、論文題目中に「Overview」等を含めることが望ましい。

刷上りが 20 頁を超えると見込まれる場合は、査読の際、内容と分量の妥当性についても審査を行う。

(5) Technical Article(12 頁以内)

金属およびその関連材料の実験技術、製造技術、設備技術、利用技術など、技術上の成果、基準、標準化、データベースなど、および関連する事柄の調査、試験結果を報告した原著論文。日本金属学会誌もしくはまてりあに Web 掲載後 2 年以内であれば、著者および内容が基本的に同一の場合に限り、英訳した論文を投稿できる。その事を脚注に明記する。ただし査読の結果、返却もあり得る。

(6) Current Trends in Research (15 頁以内)

特集企画や受賞論文等を対象にした最近の研究動向について、関連論文を引用し、Graphical Abstract 等を利用しながらその概要をわかりやすく紹介する論文。

(7) Opinion(3 頁以内)

Materials Transactions に掲載された論文に対する意見、討論またはそれに対する著者からの回答とする。科学・技術的な発展に貢献できる内容であること。

(8) その他理事会で決議した分類

2. 研究不正行為および研究不適切行為の禁止

Materials transaction への投稿に際して、本会の「[事業に係るミスコンダクト対応規程](#)」(以下、「ミスコンダクト対応規程」という)および「[学術誌の不正行為対応規程](#)」(以下、「不正行為対応規程」という)に定める不正行為をしてはならない。また、本会のミスコンダクト対応規程に定める不適切行為をしてはならない。

[多重投稿を防止するための論文作成のガイドライン](#) に例示するように、企業の技報、大学の紀

要、原著論文に該当しない公開刊行物に投稿した論文、国際会議・国際シンポジウムの Abstract および ISBN 番号・ISSN 番号のない国際会議 Proceedings などのような公開範囲限定刊行物に投稿中、または掲載済みの論文と重複した内容を持つ論文を投稿する場合は、その旨を明記の上、当該資料を添付し、編集委員会による多重投稿該当有無の判定を受けなければならない。

掲載された論文の内容の責任は著者にあるので、掲載内容に関してミスマンダクトの疑義が生じた場合の説明責任は、著者にある。

研究不正行為が判明した場合には、不正行為対応規程および本会の「[事業に係るミスマンダクトに対する処分及び措置規程](#)」（以下、「ミスマンダクト処分及び措置規程」という）に基づいて、除名（著者が本会の会員の場合）、一定期間の投稿および委員委嘱等本会における研究活動の禁止、不正行為の会告、当該論文の撤回等の処分をする。

研究不適切行為が判明した場合には、ミスマンダクト対応規程およびミスマンダクト処分及び措置規程に基づいて、措置をする。

3. 著作権規程

[著作権規程](#)

4. 投稿方法

Mater. Trans.への投稿は <https://mc.manuscriptcentral.com/matertrans> にて原稿を提出する。
和文掲載済み論文の英訳論文の場合には、和文掲載済み論文 PDF も送付する。

*提出ファイル

① 本文

MS-WORD ファイル

② 図・表

Microsoft Word/Excel/PowerPoint

Adobe Illustrator (CS～CS3 は、10 形式での保存が望ましい)

JPEG (低圧縮、高解像度)

TIFF

PNG

GIF (透明 OFF、全ての色を割り当てる)

PDF (画像ダウンサンプル及び圧縮なし、全てのフォントを埋め込む)

5. 投稿論文の編集手順

- (1) 受付月日 (Received Date) はオリジナル原稿が日本金属学会に到着した日とする。
- (2) 受理日 (Accepted Date) は掲載可と判定された査読結果が日本金属学会に到着した日とする。

6. 審査

投稿された論文は和文による発表の有無にかかわらず、欧文誌編集委員会の独自の審査を経て Mater. Trans. に掲載される。

したがって、編集委員会から原稿の修正を求められ、あるいは返却されることがある。

修正を求められた論文で定められた期限を過ぎて再提出された場合には、改めて投稿されたものとみなす。

また、期限以内に再提出された原稿でも、内容変更程度によっては、編集委員会から受付月日の変更を求められることがある。

6.1 原稿修正期間

原 稿 区 分	修正期間 (返送日から)
Regular Article, Technical Article, Review および Overview	20 日以内
Regular Article (迅速掲載) および Opinion	15 日以内
Rapid Publication	7 日以内

6.2 掲載決定論文通知

編集委員会が論文の掲載を決定した時はその旨を著者に通知する。

6.3 掲載否決定論文通知

編集委員会が掲載不相当と決定した論文は、その理由を付して著者へ返却の通知をする。

6.4 掲載否論文の再投稿

再投稿する場合には、掲載否の理由について修正し、回答を添えて修正原稿とともに提出する。

6.5 校正

- (1) 初校は著者の責任で行う。著者校正は原則として 1 回とする。
- (2) 原則として誤植の修正に限る。

ただし明らかな誤りでやむを得ず修正の場合はこれを認める。

図表の修正は 1 枚当たり 1,100 円(税込)負担とする。

7. 投稿者負担金

1. 投稿者は 投稿・掲載費用を負担する。

(公開日から 1 年間有効の電子ジャーナル購読権 ID/Password を寄贈)

2. 会員は刷上り 6 頁以上に限り、投稿・掲載費用から 11,000 円を割り引く。

3. 非会員で編集委員、査読者および特集企画世話人から紹介・推薦があった投稿論文は上記 2.を適用する。

4. カラー図表の掲載費用は、無料とする。

※オンラインジャーナルのみ(冊子および別刷は、すべてモノクロ表示)。

5. Regular Article の迅速掲載費用: 11,000 円(税込)。

6. Rapid Publication の迅速掲載費用: 22,000 円(税込)。

7. 別刷購入希望の場合は、別途費用を負担する。

8. 別刷に表紙を希望する場合は別途 11,000 円(税込)を負担する。

■ 投稿・掲載費用(税込)

2頁以内	3頁	4頁	5頁	6頁	7頁	8頁	9頁	10頁
22,000 円	33,000 円	44,000 円	55,000 円	66,000 円	84,700 円	99,000 円	118,800 円	132,000 円
11頁	12頁	13頁	14頁	15頁	16頁目以 降※			
148,830 円	165,000 円	181,610 円	198,660 円	214,500 円	1 頁につき 16,500 円			

※Overview、Review のみ

■ 別刷料金表(税込、表紙は一律 11,000 円)

	4 頁以内	5 頁	6 頁	7 頁	8 頁	9 頁	10 頁
1 セット(50 部)	7,700 円	8,800 円	9,900 円	11,000 円	12,100 円	13,200 円	14,300 円

8. 原稿の取り下げ

(1) 取下げる場合は、文書で申し出る。

(2) 組版終了後、著者都合による原稿取り下げの場合は、投稿・掲載料の 1/2 の組版代を負担する。

9. 公開後の論文訂正

(1) 公開後の論文訂正は、著者の申し出により Erratum として訂正記事を掲載する。

(2) 著者の都合による論文訂正は、1記事あたり 22,000 円(税込)の掲載料を著者が負担する。

10. 問合せ先

〒980-8544 仙台市青葉区一番町一丁目 14 番 32 号

フライトビル 2F

公益社団法人 日本金属学会欧文誌編集委員会

TEL (022)223-3685 FAX (022)223-6312

E-mail: sadoku[a]jimm.jp

※[a]は@に置き換えてください。